

平成26年度 事業報告

平成26年度の活動は事業計画に基づき順調に執行された。委員会の活性化、HPの活用、同期会の開催支援等について積極的な取り組みを実施した。

その他の活動では、会報の発行、新年懇親会の開催など例年の行事の他、市大会では同窓会の日常的な活性化に取り組んでいる。

しかし進交会は、「高齢化に伴う会員・会費の減少」と「若年層の同窓会への関心をどう集めるか」等の課題は、相変わらず抱えており、積極的な対応が要請される。引き続き、年代別の会費収納策の導入や、同期会の開催及びホームカミングデーへの参加協力を積極的に行う他、部活OB会開催推進等により、一人でも多くの若い会員の参加を呼びかけていく所存である。

[I] 平成26年度重点目標

1. 高齢化に伴う会員・会費の減少へ対応

平成22年度より会費のコンビニ払いを導入し納入窓口を増やすことにより、年々成果を上げてきたが、本年度の会費収入は5,718,000円であった。これは終身会費を50,000円から30,000円に値下げした効果により、大幅に増えた平成25年度より減ったが、平成24年度の4,207,000円は上回った。

今後も終身会費を年代ごとにターゲットをしぼるなど、積極的な取り組みを推し進めることが肝要と思われる。

2. 同期会の開催支援

平成22年より60歳還暦を迎えたY校卒業生の同期会の開催を支援している。平成26年度もY校昭和47年卒業生104名が集い旧友との再会に盛り上がり、進交会を思い出させる効果に大いに役立っている。

また、市大ホームカミングデーは、世話人を選出し、同期の会員らに積極的に呼びかけた結果、161名という前年の約2倍の卒業生が参加し、大学側からも感謝の言葉をいただいた。なお講演は、整形外科医で市大客員教授の中村格子氏が、「美しく健やかに年齢を重ねるコツ」と題して講演し、好評であった。

3. 2階テナント確保

進交会館2階のテナントが退去して2年近く空室状態が続いており、進交会財政を圧迫している。早急にテナントを確保することが焦眉の急である。

4. 委員会活動の活性化

従来4委員会を3委員会に統合し、各委員会のスリム化、業務の明確化を図ったところ、一定の成果が得られたものと思われる。

[Ⅱ] 会員の状況

1. 本年度新会員

Y校	277名
市大	924名
合計	1,201名

2. 会員総数

区分	会員（物故者を除く）	住所不明者	現在数
Y校	23,653	8,092	15,561
Y専・専修科	987	522	465
市大	34,440	14,710	19,730
合計	59,080	23,324	35,756

【市大生内訳】

区分	会員（物故者を除く）	住所不明者	現在数
商学部	14,812	6,221	8,591
文理学部	9,428	4,325	5,103
国際文化学部	1,032	630	402
理学部	690	326	364
医学部(医大・医科大)	2,743	1,061	1,682
国際総合科学部	2,096	320	1,776
看護(高等看護含む)	3,635	1,825	1,810
その他	4	2	2
合計	34,440	14,710	19,730

(平成27年3月31日現在)

[Ⅲ] 進交会の定例事業

1. 社員総会

- (1) 開催日時 平成26年5月24日（土）午前11時00分より
- (2) 開催場所 進交会館 5F会議室
- (3) 出席者 50名（委任状40名）
- (4) 議題

- ① 第一号議案 平成25年度 事業報告承認の件
- ② 第二号議案 平成25年度 決算報告書承認の件
- ③ 第三号議案 平成26・27年度理事・監事選任決議の件

第一号議案、第二号議案が承認され、第三号議案平成26・27年度理事・監事の選任決議がなされ、社員総会終了後に懇親会を開催。

2. 進交会報第80号の発行

第80号は平成26年10月6日に発行し、会員全員に配布。今回の進交会報は、80号記念号にあたっての理事長挨拶、市大新学長の挨拶、Y校新校長の挨拶に引き続き平成26年1月に亡くなった野並豊名誉理事長を偲ぶ記事を掲載。

その他例年通り、各支部の活動報告や、会員の同期会便りのほか、市大、Y校生の様々な活動や活躍を掲載。写真も多くして、母校の現状や、会員の活動をわかりやすく伝えるように心がけた。

3. 新年懇親会の開催

平成27年1月31日(土)に崎陽軒本店4Fで開催。参加者は招待客を含め130名であった。アトラクションは、「団塊の世代の唄」のバンド演奏と歌、横浜レク・フラ市民の会のフラダンスがあり、最後に恒例の福引を行い参加者に好評であった。

この席で叙勲・受章の表彰を行い、秋谷理事長が受章者に記念品を授与した。なお、受章者は次の通りである。

平成26年瑞宝中綬章、横浜文化賞	加藤 祐三 様
瑞宝双光章	小島 幸司 様
瑞宝単光章	南 信一郎 様
平成25年藍綬褒章	岸 日出夫 様
	以上4名

[IV] 理事会、各委員会及びその他の会合

1. 理事会

第一回理事会 平成26年5月24日(土) 午前11時30分より

第一号議案 平成26・27年度理事長及び業務執行役員選任の件

第二号議案 顧問及び相談役承認の件

第二回理事会 平成26年6月19日(木) 午後5時30分より

第一号議案 公益目的支出計画実施報告書承認の件

第二号議案 平成26・27年度各委員会の委員候補者承認の件

第三号議案 従業員夏季賞与支給の件

第三回理事会 平成26年11月20日(木) 午後5時30分より

第一号議案 平成26年度上半期決算報告承認の件

第二号議案 平成27年進交会新年懇親会開催承認の件

第三号議案 職員冬季賞与支給の件

第四回理事会 平成27年3月27日(金) 午後5時30分より

第一号議案 平成26年度収支見込(案)と

平成27年度収支予算(案)承認の件

第二号議案 定款変更承認の件

第三号議案 細則変更の件

第四号議案 役員選考委員会委員候補承認の件

第五号議案 社員総会の日程及び議題の件

第五回理事会 平成27年4月24日(金) 午後5時30分より

第一号議案 平成26年度事業報告(案)承認の件

第二号議案 平成26年度決算報告(案)承認の件

第三号議案 平成27年度事業計画(案)の件

第四号議案 平成27年度収支予算（案）承認の件

第五号議案 選挙管理委員会委員承認の件

第六号議案 顧問承認の件

2. 各委員会

平成25年3月28日開催の理事会で従来の4委員会（総務委員会、広報委員会、事業委員会、文化厚生委員会）を名称変更及び統合により3委員会に変更することを決定し、それに基づき委員会活動の活発化を図った。これにより各委員会のスリム化、業務の明確化が図れ、一定の成果が表れているものと思われる。

3. 部 会

(1) Y校会

平成26年度は『組織の拡大・活性化』『母校への積極的支援』をテーマに掲げて取り組んできた。『組織の拡大・活性化』の一環として、「Y校会だより」を年2回発行し、Y校会活動のPRを行い賛同者の増加に努めた。また12月の「Y校会の集い」は例年を上回る115名の参加があり、そのうち昭和40年以降卒業の会員が過去最多の50名、全体の43.5%を占め活性化が高まった。更に、「漫画で知るY校のはじまり」の冊子を作成し、会員・Y校生徒・Y校職員等に配布し、美澤進先生及びY校の歴史への理解を深める事に貢献した。母校への積極的支援策としては、Y校祭用の懸垂幕、コピー機、洗濯機の寄贈を行い、27年度はさらに生徒への学術支援も積極的に行う所存である。

以上の施策の他、新たに「東京社会見学ツアー」「麻雀大会」を定期的行事として実施し、正会員数は37%増、会費収入は84%増の成果を得た。

27年度も引き続き上記テーマをさらに前進させ、信頼される充実した確固たる組織創りをして行く方針である。

(2) 市大会

市大会は、これまで2年に1回の市大同窓会パーティーを開催してきたが、そのほかに日常的に活動を活発化すべく、協議会を持って議論してきた。その結果ホームページの立ち上げによって情報を提供すること、それにより異業種交流や若手の会員や市大在学生との交流促進を進めること、あるいは市大のキャンパスツアーなどを企画して会員の参加を募ることなどのアイデアが出されている。また市大の嘗ての著名教授の研究業績展や回顧展などを、大学と協力して開くなどの活動も実現しつつある。今後も議論を深め、一つずつ実現していく所存である。

[V] みなと倶楽部・文化教室

みなと倶楽部 …… 売上 1,162.1万円（前期比100.3%）

売り上げは前年度とほぼ同じ水準であり、赤字幅は若干であるが減少している。しかしこれは人件費等の減少によるもので、様々な売り上げ増の方策を着実に実施して、売り上げ増加を図っていかなければならない。

文化教室 …………… 生徒延べ人数 665名（前期比77%）

定例講座を含めた収入 215.1万円（前期比75%）

どの教室も高齢化による生徒数減少と会費収入の減少、また教室閉鎖の恐れもあり、若年層の取り込み、新たな教室の開講等が急務である。

[VI] 母校関係

1. Y校・市大行事への参加

- (1) Y校 ① 入学式 平成26年4月8日(火) 出席者：秋谷理事長、
② 卒業式 平成27年3月1日(日) 出席者：秋谷理事長、田宮Y校会会長
- (2) 市大 ① 入学式 平成26年4月7日(月) 出席者：秋谷理事長、川辺副理事長ら
② 「第63回医学のために献体された方々への感謝の集い」
平成26年11月15日(土) 出席者：秋谷理事長
③ 卒業式平成27年3月25日(水) 出席者：秋谷理事長、川辺副理事長ら

2. 表彰・支援

(1) 表彰

- ・ 市大 「進交会賞」9名（国際総合科学部7名、医学部2名）
- ・ Y校 「奨学金」7名（クラスの成績優秀者）
「美澤皆勤賞」46名（3年間無遅刻・無欠席の生徒に授与）

(2) 広告掲載

- ・ 市大：運動部連合会、浜大祭、混成合唱、管弦楽団
- ・ Y校：Y校文化祭、Y校吹奏楽部OBバンド

(3) 母校への支援

- ・ 市大：70万円 浜大祭へ：10万円
他「献体された方々への感謝の集い」への助成
- ・ Y校：21万円、Y校祭硬式野球招待試合費用援助 5万円

[VII] 支部関係

静岡支部総会	平成26年	4月19日	秋谷理事長、山本理事、市村事務局長
名古屋支部総会	平成26年	7月9日	秋谷理事長、市村事務局長
近畿進交会総会	平成26年	10月17日	秋谷理事長、市村事務局長
千葉県支部総会	平成26年	11月8日	川辺副理事長、市村事務局長
宮城支部例会	平成26年	11月15日	市村事務局長

以上